

文化創造学専攻 観光専修 英語教育コース

コア・カリキュラム構成の設定と学習内容・行動目標

育成する人物像

グローバルな時代にふさわしい
英語のスペシャリスト

教育目標

教員免許状（中・高等学校1種英語）の取得や、子どもに無理なく、楽しい英語を教えることができる人材育成を目標とします。また、国際社会で活躍するための観光業界で使われる英語表現を教え、訪日旅行者への対応ができる人材を育てます。

入学前課題

コアカリキュラムに関連した課題を4回に分けて提供する。

- ・語彙（観光英語）
- ・リーディング（観光案内）
- ・リスニング（観光案内）
- ・ライティング（私の町）

コアカリキュラムとそれを構成する科目

会話によるコミュニケーション能力

- ①決められた話題について語る力
 - ②相手の語る内容に対して適切に対話に進める力
 - ③classroom English を流暢に言える力
- 科目：英語コミュニケーションⅡ

文章によるコミュニケーション能力

- ①感情・条件に合わせた英語を活用
 - ②創造性がある英語文章が書ける力
 - ③様々な題について英語文章が書ける力
- 科目：イングリッシュ・エクスプレッションⅡ

「英語」に対する知識

- ①言語の知識
 - ②外国語学習と母国語習得の違いを認識
- 科目：イングリッシュ・エクスプレッションⅠ

基礎科目

- ①教養英語
- ②英語学概論
- ③文化創造基礎(英語)
- ④英語の音声
- ⑤イングリッシュ・エクスプレッションⅠ



英語文章表現：手づくりストーリーブック



ツーリズムイングリッシュ：
機内アナウンスの練習の場面

観光分野に必要な英語能力

- ①観光パンフレットを読めること
 - ②日本や外国の観光資源について話せる力
 - ③ホスピタリティ業の専門用語の英語を理解
- 科目：ツーリズムイングリッシュⅠ＆Ⅱ

国際事情の知識

- ①多文化の人とのコミュニケーション方法を知る
 - ②英語圏の地域についての情報を知る
- 科目：異文化コミュニケーション

補完授業

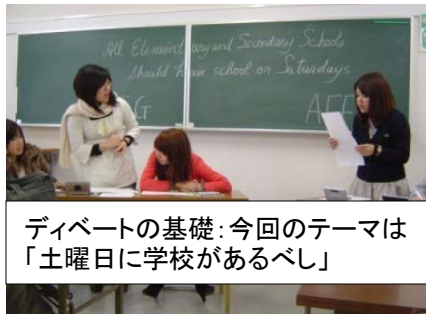
- ①観光英語検定試験対策講座
- ②海外学習実践

オーストラリア語学研修



英語教育コースの特徴:

英語教育コース+教育文化を履修すると、中・高教員免許を取得できる。
英語教育コース+観光文化を履修すると、海外旅行の添乗員になれる。
英語教育コース+国語文化を履修すると、翻訳家や海外での日本語教員になれる。



ディベートの基礎: 今回のテーマは
「土曜日に学校があるべし」

グローバル時代に
活躍できる
英語のスペシャリスト
の養成

英語教育の発展科目

- ①英米文学史
- ②英語圏文学概説
- ③教材開発研究
- ④ディベートの基礎
- ⑤イングリッシュ・
エクスプレッション II

英語科教育法

観光英語の発展科目

- ①リージョンスタディーズⅠ
- ②リージョンスタディーズⅡ
- ③ビジネス・イングリッシュ
- ④ディベートの基礎
- ⑤海外学習計画

卒業研究
応用演習
基礎演習

英語教育
のプロ

観光英語
のスペ
シャリスト

コアカリキュラムと指導目標及び達成状況の評価 例 科目:イングリッシュ・エクスプレッションⅠ

効果: 言葉に関する知識を深め英語力を高める

- ①英語という言葉に関する知識が深まる。
- ②英語を使ったコミュニケーション能力を高められる。
- ③TOEIC等の資格試験に役立てることができる。
- ④教員採用試験や大学院入学に必要な専門科目の基礎的な知識が身につく。

評価

①学生による達成状況の自己評価:

達成レベルは、「①友達に聞いてできる～④他の人に説明できる」という4段階があり、授業の内容がどこまで理解できたが簡単にわかる。

②教員による評価:

発表、レポート、テストなど(例えば:自分の英語力アップに最適の方法は何か。)

③外部評価:

検定試験など (例: TOEIC、TOEFL、実用英語検定試験2級以上)